

評価点が4点又は5点の場合は、水色の欄に、環境配慮設計の概要を具体的に記入してください。

CASBEE_Sapporo2014v1.2
公営住宅(月寒団地F-2号棟)

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

水色欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階				重点評価項目					重点評価項目				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体				
						A:省エネルギー					B:省資源				C:緑化		D:雪処理						
配慮項目	重点評価項目	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄										評価点	重み係数	評価点	重み係数				
		A	B	C	D																		
Q 建築物の環境品質																							2.7
Q1 室内環境																							2.6
1 音環境																							2.9
1.1 騒音																							3.0
1.2 遮音																							2.8
1 開口部遮音性能																							3.0
2 界壁遮音性能																							3.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																							2.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)																							3.0
1.3 吸音																							-
2 温熱環境																							2.3
2.1 室温制御																							1.0
1 室温																							1.0
2 外皮性能																			A		住宅性能表示の等級4を満たしている		1.0
3 ゾーン別制御性																							-
2.2 湿度制御																							3.0
2.3 空調方式																							1.0
3 光・視環境																							2.4
3.1 屋光利用																							3.0
1 屋光率																					計算による		-
2 方位別開口																							-
3 屋光利用設備																			A				3.0
3.2 グレア対策																							1.0
1 屋光制御																			A				1.0
2 眩れ防止対策																							-
3.3 照度																							1.0
3.4 照明制御																							1.0
4 空気質環境																							3.0
4.1 発生源対策																							3.0
1 化学汚染物質																							3.0
2 アスベスト対策																							-
4.2 換気																							3.0
1 換気量																					計算による		-
2 自然換気性能																							-
3 取り入れ外気への配慮																							3.0
4.3 運用管理																							-
1 CO ₂ の監視																							-
2 喫煙の制御																							-
Q2 サービス性能																							2.9
1 機能性																							3.0
1.1 機能性・使いやすさ																							2.6
1 広さ・収納性																					100Mbitクラスのブロードバンドを設置		4.0
2 高度情報通信設備対応																					建築物移動等円滑化基準を満たしている		-
3 バリアフリー計画																							4.0
1.2 心理性・快適性																							1.0
1 広さ感・景観																							1.0
2 リフレッシュスペース																							-
3 内装計画																							3.0
1.3 維持管理																							2.5
1 維持管理に配慮した設計																							3.0
2 維持管理用機能の確保																							2.0
3 衛生管理業務																							-
2 耐用性・信頼性																							2.8
2.1 耐震・免震																							3.0
1 耐震性																							3.0
2 免震・制振性能																							3.0
2.2 部品・部材の耐用年数																							2.5
1 躯体材料の耐用年数																					住宅性能の等級3		5.0
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔																			B				2.0
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔																			B				3.0
4 空調換気ダクトの更新必要間隔																			B				-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔																			B				-
6 主要設備機器の更新必要間隔																			B				3.0
2.4 信頼性																							3.0
1 空調・換気設備																							3.0
2 給排水・衛生設備																							3.0
3 電気設備																							3.0
4 機械・配管支持方法																							3.0
5 通信・情報設備																							3.0
3 対応性・更新性																							3.2
3.1 空間のゆとり																							2.2
1 階高のゆとり																							-
2 空間の形状・自由さ																							3.0
3.2 荷重のゆとり																							1.0
3.3 設備の更新性																							3.0
1 空調配管の更新性																					構造部材を痛めることなく修繕、更新できる		3.0
2 給排水管の更新性																							4.0
3 電気配線の更新性																							3.0
4 通信配線の更新性																							3.0
5 設備機器の更新性																							3.0
6 バックアップスペースの確保																							3.0
Q3 室外環境(敷地内)																							2.7
1 生物環境の保全と創出																							2.0

CASBEE_Sapporo2014v1.2
公営住宅(月寒団地F-2号棟)

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
実施設計段階										
配慮項目										
2 まちなみ・景観への配慮			C			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮						3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				住宅性能評価 断熱等級4	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	A					3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化						4.2	0.50	-	-	4.2
集合住宅以外の評価(3a,3b)	A					-	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)	A				住宅性能の等級4	4.2	1.00	-	-	
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						-	-	-	-	
4.1 モニタリング	A					3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制	A					-	-	-	-	
集合住宅の評価						3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.0
1 水資源確保						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					節水コマなどに九会あえて、省水型機器などを用いている	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減		B				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B				3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						3.0	0.70	-	-	
1 消火剤		B				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		B				3.0	1.00	-	-	
3 冷媒		B				-	-	-	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮		B			計算による	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮						2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		B				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮						2.5	0.33	-	-	2.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	
1 騒音						3.0	0.50	-	-	
2 振動						-	-	-	-	
3 悪臭						3.0	0.50	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						1.6	0.40	-	-	
1 風害の抑制						1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制						-	-	-	-	
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制						3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					広告物がない	4.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	